

かぞく かんが とく
「家族のことを考える」に取り組み、

じぶん じっこう かぞく えがお
自分にできることを実行すれば、家族が笑顔になれる！

こうちょう うすい あつし
校長 臼井 淳

児童のみなさんへ

なが きゅうくつ やす つづ
長い窮屈なお休みが続いているが、みなさん元気に過ごすことができていますか。入学式・始業式
す がつ がつこう し ほんねんど もくひょう
も済ませてはいませんが、4月の学校だよりでお知らせした、本年度の目標「みんなのことを考える」
かくかてい とく
を、各家庭で取り組めているでしようか。

かくかてい かんが かぞく かんが
各家庭で「みんなのことを考える」とは、「家族のことを考える」とすればわかりやすいと思います。
かぞく なか おとな しごと かね
家族の中の大人は、それぞれ仕事をしてお金をもらっています。そのお金を使って、家族は生活をしている
ですが、仕事ができなくなっている人や、仕事をしても今までと同じようにお金をもらえないという
ことが起きているのです。だから、大人は、今必死です。家族のために、社会のために、何とかしようと
いつしうけんめい
一生懸命になっているのです。

じぶんかって しんぱい
そこで、みなさんが、自分勝手なことをしたり、心配をかけたりするようなことがあると、大人たちも
よゆう しじん おこ
余裕がないので、自然と怒られるということが増えていってします。すると、家族の中にいやな空気
う き お う だ
が生まれ、やる気の起こらないみなさんを生み出しかねないです。外出ができない、思いきり体を動
かせないなど、みなさんにストレスがたまり、もやもやした気持ちがふくらんできていると思います。
かぞく さき
しかし、厳しい生活をしなければならない今だからこそ、「家族のことを考える」ということに取り組み、
家族を支えていってほしいのです。

かぞく かんが
では、どんなことをすることが、「家族のことを考える」となるのでしょうか。校長先生の願いも込
めて、提案をしてみます。

① 自分のしなければいけないことを、大人に言われなくともきちんとすること

がつこう じかんわり
学校では時間割があり、それに沿って一日の生活が組み立てられていますが、今は各家庭でその
じかんわり つく
時間割を作つてほしいのです。朝、決めた時刻に起きることから始まり、朝食・洗顔・着替え・
はいへん すす
排便といったことを進め、何時から課題に取り組むのかということです。学校からの課題もあります
がつこう かだい
が、自分で考えた課題もあっていいと思います。「勉強しなさい」「あれしなさい」「これしなさい」と
い い い
いと言われてするのではなく、ぜひ、言われる前に、自分から取り組んでいきましょう。もし、
おとな い
大人から言われて、「今しようと思ってた」や「言われんでもするよ」というような
い わけ
言い訳をしていることがある時は、それまでに大人は「言わないでおこう」とつい
がまん おお
ぶん我慢をしていることが多いですよ。そうならないように、進んで取り組んで
みてください。きっと、いい気持ちで始められますよ。



② 家族の仕事を手伝う

いえ なか おとな
家の中で大人たちは、毎日みんなのことを考えて、様々なことをしてくれています。その中の
ひとつでもいいので、みなさんが進んでできるようになると、大人はとても楽になります。例えば、
いえ そうじ せんたく
家の掃除、洗濯、洗濯物を干す、洗濯物の取り入れ、洗濯物をたたむ、食べた後の食器の片づけ、
ふろ そうじ そ うじ しょくじづく
風呂掃除、トイレ掃除、食事作りの手伝いなど、大人にやつてもらっていることがあると思います。
いえ るすばん
家で留守番をしながらできるものもあると思います。家族で相談して、ぜひ取り組んでほしいと

思います。家での時間割に組み入れると、変化のある時間割ができると思います。

③ 家族に感謝の気持ちを伝える

家族にやつてもらっていることが、たくさんあることに気づくと思います。みなさんにはまだできないこともあると思うのですが、それに対して感謝の気持ちを伝えることは、とても大切なことです。やつてもらっていることは、当たり前とするのではなく、できることを増やしながらも、やつてもらつたことに対して、感謝の気持ちを言葉にして伝えましょう。「ありがとうございます」「いただきます」「ごちそうさまでした」「たすかつたあ」「うれしい」など、いっぱいあると思います。

これらのことが、少しでもできるようになると、一生懸命にがんばつてゐる家族を応援することになるのです。そして、みなさんにとっては、できることが増えていき、家族から認められること、ほめられることも増えていくことになるのです。

つまり、「家族のことを考える」ということは、自分のことを考えることであり、自分を大切にすることにつながっていくということなのです。「長い休みが続いていやだなあ」とマイナスにとらえるのではなく、「せつかくの休みなんだから、自分にできることを増やしていこう」とプラスに考えていくましょう。

そして、学校が再開した時に、みんなの成長した姿をみせてください。すると、学校の目標としている「みんなのことを考える」がすてきな姿となって、各学級・学年でみられるようになるのではないかなど、楽しみにしています。

臨時休校中のお願ひ



① 臨時休校中の連絡は、保護者メールやホームページでお伝えするしかありません。お伝えしたい事があるときには、保護者メールでお伝えして、ホームページで配布物をアップするようにいたしますので、よろしくお願ひをします。メールが届いていない場合がありましたら、学校までお問い合わせください。(06-6441-6003 までお電話をお願いします。

なお、夕方 18 時から翌朝 8 時までは学校につながりません。また、土日・祝祭日も電話での対応ができませんので、ご理解の程お願ひをいたします。

② 臨時休校が、5 月 10 日以降、再延長となった場合には、教育委員会より指示があり次第、課題の配布ができるように準備しています。これまでと同様に、保護者の方に来校していただかなければなりません。各教室のお子様の名前がある児童机の上に封筒に入れて準備をしていますので、お持ち帰りください。5 月 6 日までの課題、それまでの課題や提出物につきましては、前回の配布時に使用した封筒に入れていただき、机上にご提出ください。兄弟・姉妹関係は、下の学年でまとめて置いていますので、別々に教室に行く必要はありません。その時には、マスクと入校証の着用と、できるだけ人との接触することのないように気を付けていただければと思います。

③ 今回の感染症は、発熱や肺炎等の症状が出ない軽症の感染拡大が進んでいる今、新型コロナウィルスのキャリアにいつなつてているのかわかりませんし、いつ発症するのかもわからないのが現状です。そのため、人との接触を極力減らすために今回の「緊急事態宣言」が出されていますので、子ども達だけでなく、家族の皆様におかれましても、手洗い・うがいの励行とともに、予防に努めていただきますようにお願ひをします。

もし、児童や教員で発症者が出来ますと、濃厚接触者が多数出ることになるので、学校を閉めなければなりません。一人ひとりの注意喚起で、何とか乗り越えていきたいと思いますので、ご協力をお願ひします。